エデュケーション		研修コース群	礎インストラクションの基	礎 ス開発技法の基	ト基礎	界の基礎知	財務・会計の基礎	ダシップ エデュケー ションのリー	  ション  ン	- ション	実施と評価	市場分析手法の基礎	最新研修技術動向	<b>量亲打</b> 卻重 向	行 力	最新ビジネス動向	コミュニティ活動		教材開発	## ## . XX	<b>改受去</b>	要件定義	カリキュラム設計
職種共通スキル項目	専門分野固有スキル項目	研修コース名 知識項目	礎インストラクションの基	礎 ス開発技法の基	トの基礎プロジェクトマネジメン	業界の基礎	財務・会計の基礎	ダシップ エデュケー ションのリー	ョョンン	ンシ ョ ン	研修の実施と評価	市場分析手法の基礎	最新研修技術動向	最新技術動向	専門知識アップデー ト	最新ビジネス動向	コミュニティ活動	講義テキスト開発研修教材開発技法	ツ開発 ・ラー ニングコンテン研修教材開発技法	コー チング技法	ファシリテー ション技法	研修コー ス開発要件定義	カリキュラム設計技法
研修業界動向の把握		研修のための最新機器とツール ・最新研修機器の把握と活用 ・最新研修ツールの把握と活用																					
研修業界動向の把握		研修関連!T知識 ・業界標準の把握と活用 ・技術動向の把握と活用																					
研修業界動向の把握		研修業界知識 ・業界動向の把握と活用 ・市場分析結果の把握と活用																					
研修業界動向の把握		財務分析 ・財務諸表に関する知識の活用 ・経営指標の分析と把握 ・財務分析手法の理解と活用 ・財務状況の分析と把握																					
研修業界動向の把握		市場調査概念と方法論 ・市場の定義 ・市場会体の把握 ・市場分析 ・市場調査目的の設定 ・市場調査目的の設定 ・市場調査の設計 ・市場調査の設計 ・市場調査の変施 ・仮説検証																					
研修業界動向の把握		市場分析 ・マクロ環境分析 ・競客分析 ・競客分析 ・競舎分析 ・内部環境分析(自社の強みと弱みの分析) ・市場機会の分析 ・市場機会の分析 ・市場の需要測定 分析ツルとモデルの理解と活用																					
研修業界動向の把握		カポープ・ルン・事業ライフサイクル(導入期、成長期、成熟期、衰退期)モデル ・プロダクトポートフォリオマネジメント(PPM)モデル ・経験カーブ ・3C分析 ・SWOT分析 ・75モデル ・マイケル・ボーターの5Forcesモデル ・パリューチェーン分析 ・その他																					
コストマネジメント		コストコントロール ・コスト変更管理の実施 ・進捗状況評価基準の把握、実践 ・EVM(Earned value management)の活用と実践 ・コストコントロールツールの活用と実践																					
コストマネジメント		コスト積算 ・トップダウンコスト見積の実施 ・ボトムアップコスト見積の実施 ・見積ツールの活用と実践 ・コスト見積方法論の活用と実践																					
コストマネジメント		資源計画 ・資源計画の検討と策定 ・代替案の定義																					
コストマネジメント		予算設定  ・予算設定ツールと技術の活用と実践  ・コストベースラインの作成																					
コミュニケーション		コミュニケーション(2Way) ・対話、インタビューの実施 ・意思疎通 ・コミュニケーション手法の活用と実践 ・効果的な話し方、聞き方の実践																					
コミュニケーション		コミュニケーション(情報処理) ・状況対応能力の育成と実践 ・情報理解力の活用と実践 ・ミーティング運営技術の活用と実践																					
コミュニケーション		コミュニケーション(情報伝達) ・ブレゼンテーション技術の活用と実践 ・公式および非公式文書の作成 ・文書表現および表現力の活用と実践 ・メディア選択 ・説得技法の活用と実践																					
コミュニケーションマネジメント		コミュニケーション計画 ・コミュニケーション要件の把握 ・コミュニケーション技術の活用と実践 プロジェケト完了手続																					
コミュニケーションマネジメント		プロシェクト光」 デーポート・プロジェクト実績報告 ・プロジェクト報告書の作成 ・プロジェクトプレゼンテーションの実施																					
コミュニケーションマネジメント		実績報告 · 進捗検証 · 予実分析 · 傾向分析 · Earned Value分析																					
コミュニケーションマネジメント		情報配布 ・コミュニケーションスキルの活用と実践 ・情報配布方法論の活用と実践																					
スコープマネジメント		スコープ計画 ・スコープ記述書の策定 ・スコープマネジメント計画書の策定																					
スコープマネジメント		スコープ検証    スコープ定義  ・WBSの作成																					
スコープマネジメント		・スコープ記述書更新版の策定 スコープ変更管理 ・スコープ変更																					
スコープマネジメント		・ベースライン文書の改訂 プロジェクト開始 ・プロジェクト悪章の策定 ・プロジェクトマネシャの選定と任命																					
タイムマネジメント		- 制約条件、前提条件の把握 スケジュール開発と管理 - 数学的分析(Critical Path Method, PERT等) - 所要時間の短縮 - シミュレーションの実施 - ブロジェクトマネジメントツールの活用 - ブロジェクトスケジュールの作成 - スケジュールマネジメント計画書の作成 - スケジュール変更管理																					
タイムマネジメント		作業順序設定 ・PDM(Precedence diagramming method) ・ADM(Arrow diagramming method) ・Conditional diagramming method ・プロジェクトネットワーク図の作成																					
タイムマネジメント		- 作業項目リストの作成 作業所要時間見積 - 作業項目リストの作成																					
タイムマネジメント		作業定義 ・作業の細分化、詳細化 ・作業項目リストの作成																					
ネゴシエーション		- WBS更新版の作成 ネゴシエーション ・交渉ブロセスの把握と実践 ・効果的な交渉技法の活用と実践 ・信頼関係の確立 ・目標の設定 ・共通利益 ・論理的思考の実践 ・問題解決手法の活用と実践																					

1/3

c経済産業省

エデュケーション		研修コース群	ンストラクションの基	礎 ス開発技法の基	ェクトマネジメ	業界の基礎知識	財務・会計の基礎	ーションのリー	ションのコ	シエー ションのネゴ	実施と評価	市場分析手法の基礎	最新研修技術動向	<b>青亲</b> 主 初重 向	斤 支 力	最新ビジネス動向	コミュニティ活動		教材開発	孝 打 注	文受去	要件定義	カリキュラム設計
職種共通スキル項目	専門分野固有スキル項目	研修コース名知識項目	礎インストラクションの基	礎 コー ス開発技法の基	基礎ジェクトマネジメ	界の基礎知識	財務・会計の基礎	ダシップ エデュケー ションのリー	ミュニケー ションのコ	シエー ションのネゴ	研修の実施と評価	市場分析手法の基礎	最新研修技術動向	最新技術動向	専門知識アップデート	最新ビジネス動向	コミュニティ活動	講義テキスト開発研修教材開発技法	ツ開発 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	コー チング技法	ファシリテー ション技法	研修コー ス開発要件定義	カリキュラム設計技法
リーダシップ		リーダシップ ・リーダシップの基本や原則の把握と実践 ・チームワークとコミュニケーションの実践 ・業務の推進 ・業務の推進 ・業務の管理 ・チームメンパの連携 ・チームメンパの動機付けと達成感の提供																					
リスクマネジメント		リスクマネジメント計画策定リスク監視とリスクコントロール																					
リスクマネジメント		- ブロジェクトリスク対応監査 - 定期的なブロジェクトリスク検証 - Earned Value分析 リスク識別 - 資料分析																					
リスクマネジメント		・情報収集技術(ブレインストーミング、インタビュー、SWOT分析)の活用と実践 ・仮説分析・ ・ダイアログ技術の活用と実践 リスク対応計画																					
リスクマネジメント		- 許容 ・ 回避 ・ 移転減 ・ 受容																					
リスクマネジメント		定性的リスク分析 ・リスク発生頻度と損害の大きさによる分析 ・リスク発生頻度と損害の大きさの評価マトリックスによる分析 が 定量的リスク分析																					
リスクマネジメント		・情報収集技術(インタビュー)の活用と実践 ・重大性分析 ・デションツリ分析 ・ジョン・ションの実施 最新   市場動向																					
研修業界動向の把握		・国内外のIT市場規模と動向の把握 ・アブリケーションに関わる技術動向の把握 ・ビジネス特許に関わる技術動向の把握 ・火世代のeビジネスとその発展の把握 最新技術動向																					
研修業界動向の把握		・最新八ードウェア技術動向の把握 ・最新ミトルウェア技術動向の把握 ・最新フラットフォーム技術動向の把握 ・最新ネットワーク技術動向の把握 ・最新データペース技術動向の把握 ・最新アニタペース技術動向の把握 ・最新ウステム管理技術動向の把握 ・最新システム管理技術動向の把握																					
組織マネジメント		チーム体制化 ・チーム構成作業の実施 ・一般的な管理業務の実施 ・適材配置の実践 ・チーム育成																					
組織マネジメント		プロジェクト組織計画 ・人材業務の実践 ・組織論の実践																					
組織マネジメント		要員調達 ・要員計画の策定 ・採用業務の実施 ・ネゴシエーション ・調達																					
調達マネジメント		引合計画と引合 ・調達文書の作成 ・評価基準の設定 ・プロポーザルの受理 契約管理																					
調達マネジメント		- 契約業務の理解 - 契約条件の確認と合意 - 契約の締結 - 例外事項の処理 ・外注とOEM契約業務の理解 - 関連法規の理解と遵守																					
調達マネジメント		調達計画 ・内製外製の分析 ・契約形態の選択										-											
調達マネジメント		・調達計画書の作成 発注先選定 プロジェクト計画の策定																					
統合マネジメント		・ブロジェクト計画メソドロジの活用と実践 ・ブロジェクトマネジメントツールの活用 ・ブロジェクト計画書の要定 ブロジェクト計画画の実施																					
統合マネジメント		・一般的な管理スキルの活用と実践 ・プロジェクトマネジメントツールの活用 ・承認プロセスの把握 ・進捗管理会議運営 ・組織の手続きの把握																					
統合マネジメント		統合変更管理 ・変更管理 ・プロジェクト進捗評価基準の活用と実践 ・プロジェクト間画書更新版の策定																					
品質マネジメント		品質コントロール ・監査 ・コントロールチャートの活用と実践 ・バレート図の活用と実践 ・統計サンプリングの実施 ・フローチャートの活用と実践 ・傾向分析																					
品質マネジメント		品質計画 ・ペネフィットコスト分析 ・ペンチマーキングの実施 ・フローチャートの活用と実践 ・品質に関するコスト管理																					
品質マネジメント		品質保証 ・品質計画 ・品質予測 ・品質監査 ・ツールと技術の活用と実践																					
	教授法	インストラクション手法 ・目標の設定 ・教育技法 ・メディア選定 ・カリキュラムの作成 ・プレゼンテーション技術の活用と実践																					

2/3

c経済産業省

エデュケーション		研修コース群	礎インストラクションの基	礎 ス開発技法の基	ト基礎	研修業界の基礎知識	財務・会計の基礎	ダシップ エデュケー ションのリー	ミュニケー ションのコ	ョションの	評価	市場分析手法の基礎	最新研修技術動向	<b>青亲</b> 打衬重 向	ħ	最新ビジネス動向	コミュニティ活動		教材開発	孝打污	女爱去	要件定義	カリキュラム設計
職種共通スキル項目	専門分野固有スキル項目	研修コース名 知識項目	礎インストラクションの基	礎 ス開発技法の基	トの基礎プロジェクトマネジメン	研修業界の基礎知識	財務・会計の基礎	ダシップ ションのリー	ミュニケー ションのコ	- ション	研修の実施と評価	市場分析手法の基礎	最新研修技術動向	最新技術動向	専門知識アップデート	最新ビジネス動向	コミュニティ活動	講義テキスト開発研修教材開発技法	ツ開発 ・ラー ニングコンテン研修教材開発技法	コー チング技法	ファシリテー ション技法	研修コー ス開発要件定義	カリキュラム設計技法
	教授法	評価手法 ・目標の設定 ・マイルストーンの明確化 ・問題、課題の明確化 ・実行 ・フィードパック ・効果測定																					
	教授法	ファシリテーション ・目標の設定 ・受講者の動機付けと達成感の提供 ・傾聴 ・意見調整 ・実行力の発揮 ・研修コース運営方法の活用と実践 ・効果測定																					
	コース開発	eラーニング開発 ・コンテンツ開発プロセスの把握 ・コンテンツの技術表現 ・eラーニングブラットフォーム構築 ・ラーニングマネジメントシステムの活用 ・オーサリングツールの活用 ・部品化の活用 ・eラーニングの標準化																					
	コース開発	講座、コースの開発 ・コンテンツ開発 ・インストラクショナルデザイン																					
	担当教育分野における専門 性	担当教育分野における専門性 ・専門知識の修得と活用																					
	分析、設計、管理	講座、コースの企画 ・ロードマップ作成 ・コースの企画																					
	分析、設計、管理	講座、コースの設計 ・講座、コース体系の作成 ・ソリューション設計																					
	分析、設計、管理	講座の管理、コースの管理 ・実績管理 ・受講者の満足度 ・知的資産管理																					
	分析、設計、管理	受講者ニーズ、市場ニーズ ・受講者要望、ニーズ&ウォンツの把握																					

c経済産業省

3/3